

⑬ Int. Cl.⁴
G 02 B 26/08
6/42

識別記号 庁内整理番号
E-6952-2H
8507-2H

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月20日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 レーザー光線分光装置

⑯ 特 願 昭62-172494

⑰ 出 願 昭62(1987)7月10日

⑱ 発 明 者 河 部 正 広島県広島市東区戸坂大上4丁目9番15号201
⑲ 出 願 人 佐 伯 光 弘 広島県広島市西区大芝2丁目10-33

明 細 書

1. 発明の名称 レーザー光分光装置

2. 特許請求の範囲

レーザー光投射装置とアクチュエータの回転軸に取付た反射体と、反射体の回転軸から等距離の位置に取付た2ヶ以上の光ファイバー入力光学系からなり、反射体を位置決め制御することにより、レーザー光の分光を行うレーザー光分光装置。

3. 発明の詳細な説明

(A) 産業上の利用分野

この発明はレーザー光線を分光し、光ファイバーを用いて変数の位置に導く装置に関するものである。

(B) 従来の技術

レーザー光を用いて照明を行い画像処理を行うにあたり、しばしば1ヶ所以上の位置から一定時間隔で切換えながら、レーザー光を投射する必要が生じる。このような場合、従来は多数のレーザー光源を用意し、このレーザー光源を順次ON-

OFFすることにより目的を果たしていた。しかしこのような方法では装置が大がかりになりコスト高となっていた。

(C) 発明が解決しようとする問題点

本発明は前記の目的に対し、一つのレーザー光源を分光して順次使用することにより、装置をコンパクト化して低価格化するものである。

(D) 問題を解決するための手段

本発明の構成を図に沿って説明する。

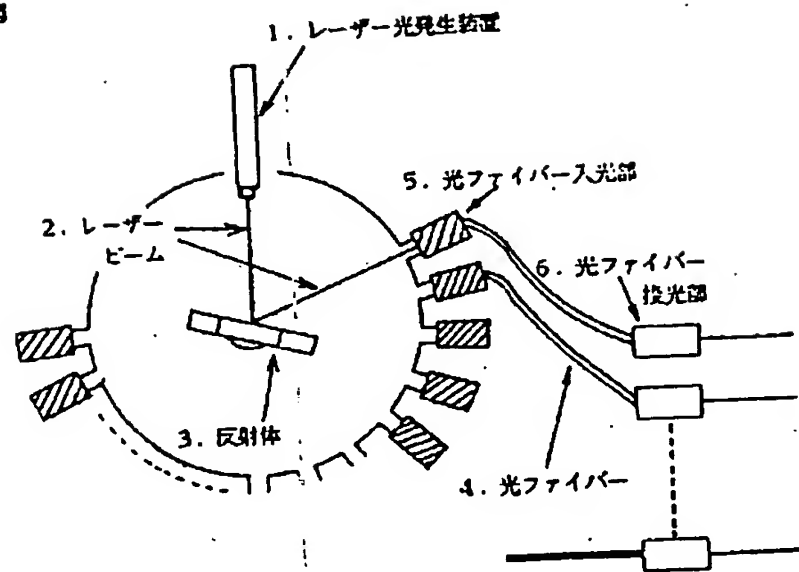
1. は光線の出口にコリメーターレンズ系を取付け、小径のレーザービームを投射するレーザー光発生装置である。このレーザー光発生装置から投射されたレーザービームは、位置決め制御の可能な回転アクチュエータの軸に取付られた反射体3により反射し、光ファイバーへレーザー光を導入する光ファイバー入光部5へ入射する。反射体3の回転軸から等距離の位置に多数(光ファイバー入光部を)配置し、反射体を順次位置決め制御することにより必要な位置に配置された光ファイバー入光部からレーザービームが順次投射される。

4. 図面の簡単な説明

1. はレーザー光発生装置
2. はレーザービーム
3. は反射体
4. は光ファイバー入光部
5. は光ファイバー投光部

図 面

第1図



特許出願人 佐伯 光弘

手続補正書(方式)

昭和62年9月28日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示 昭和62年特許願第172494号
2. 発明の名称 レーザー光線分光装置
3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 広島市西区大芝2丁目10-33

氏名 佐伯 光弘

4. 補正命令の日付 昭和62年9月22日
5. 補正の対象 願書の発明の名称及び、明細書の図面の簡単な説明の欄
6. 補正の内容 別紙の通り

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の構成を示す図

- 1はレーザー光発生装置
- 2はレーザービーム
- 3は反射体
- 4は光ファイバー入光部
- 5は光ファイバー投光部

BEST AVAILABLE COPY